

平成26年度病害虫発生予報第6号

平成26年9月1日
愛知 県

普通作物

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響			
イネ	いもち病（穂いもち）	少ない	県全域	8月下旬の発生量はやや少ない	－			
				8月上旬の葉いもちの発生量は少なかった	－			
				主要品種は穂いもちに強い	－			
				9月の降水量はほぼ平年並	±			
				トビイロウンカ	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並	±
				ツマグロヨコバイ	やや少ない	県全域	8月下旬の発生量はやや少ない	－
コブノメイガ	少ない	県全域	8月下旬の発生量は少ない	－				
	フタオビコヤガ	少ない	県全域	8月下旬の発生量は少ない	－			
	斑点米カメムシ類	やや多い	県全域	8月下旬の発生量はやや多い	＋			
ダイズ	ハスモンヨトウ	やや少ない	県全域	8月下旬の発生量はやや少ない	－			
				フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない	－			

・防除対策

[イネ・斑点米カメムシ類]

8月18日発表の「平成26年度病害虫発生予察注意報第4号」を参照してください。

・留意事項

ほ場でトビイロウンカ短翅型成虫の生息を認めました。普通期栽培では坪枯れ等の被害を生じるおそれがありますので、生息を認めたら適切に防除しましょう。

果樹

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ウンシュウミカン	黒点病	平年並	県全域	8月の枯れ枝上の孢子形成量は平年並	±
				8月下旬の発生量は少ない	－
				8月中下旬の降水量は多かった	＋
				9月の降水量はほぼ平年並	±

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ウンシュウミカン	ミカンハダニ	少ない	県全域	8月下旬の発生量は少ない 9月の気温は平年並 9月の降水量はほぼ平年並	— ± ±
	チャノキイロアザミウマ	やや少ない	県全域	8月下旬の発生量は平年並 黄色粘着トラップにおける誘殺数は少ない	± —
モモ	せん孔細菌病	やや多い	県全域	8月下旬の発生量は平年並 8月中下旬の降水量は多かった 9月の降水量はほぼ平年並	± +
	モモハモグリガ	少ない	県全域	8月下旬の発生量は少ない フェロモントラップにおける誘殺数は少ない	— —
ブドウ	べと病	平年並	県全域	8月下旬の発生量は少ない 8月中下旬の降水量は多かった 9月の降水量はほぼ平年並	— +
カキ	炭疽病	やや多い	県全域	8月下旬の発生量は平年並 8月中下旬の降水量は多かった 9月の降水量はほぼ平年並	± +
	うどんこ病	少ない	県全域	8月下旬の発生量は少ない	—
果樹共通	カメムシ類	やや多い	県全域	予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数はやや多い 8月下旬のカキでの被害果率は多い	+ +

・防除対策

〔モモ・せん孔細菌病〕

越冬病原菌密度を低下させるため、ICボルドー412などで秋期防除しましょう。

〔カキ・炭疽病〕

アミスター10フロアブルやナリアWDGなどで防除しましょう。

〔果樹共通・カメムシ類〕

当年世代成虫がすでにヒノキ林から離脱して果樹園へ飛来しています。園内をよく観察し、飛来が続く場合は、収穫前日数に注意して、ナシではスカウトフロアブルやダントツ水溶剤、カキではアクタラ顆粒水溶剤やスタークル/アルバリン顆粒水溶剤などで防除しましょう。

・留意事項

ウンシュウミカンでは、チャノキイロアザミウマの発生量が多いほ場があります。チャノキイロアザミウマ第7世代成虫の発生ピークは、名古屋9月16日、愛西9月23日、豊田、蒲郡及び伊良湖9月25日、豊橋9月26日、南知多9月27日、岡崎9月28日、新城10月5日、稲武における第5世代成虫の発生ピークは、9月22日と予測します（8月31日までの実測値で計算）。発生ピーク予測を参考に、防除しましょう。防除薬剤については、8月1日発表の「チャノキイロアザミウマ情報第4号」を参考にしてください。

ナシでは、ナシヒメシンクイが、西尾市に設置したフェロモントラップで8月第5半旬に誘殺数が急増しました。成虫発生ピークの7～10日後に防除しましょう。うどんこ病の

発生量が多い場合は、早期落葉を防ぐために防除しましょう。

ブドウべと病は、降雨が続くと急速に蔓延するおそれがあります。発生を確認したら、早期落葉を防ぐためICボルドー48Qなどで防除しましょう。

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
キャベツ	黒腐病	平年並	県全域	9月の降水量はほぼ平年並	±
キャベツ ハクサイ ダイコン	コナガ	やや少ない	県全域	フェロモントラップにおける 誘殺数はやや少ない	—
	ハイマダラノメイガ	平年並	県全域	8月の気温は平年並 9月の気温は平年並 9月の降水量はほぼ平年並	± ± ±
野菜共通	ハスモンヨトウ	やや少ない	県全域	フェロモントラップにおける 誘殺数はやや少ない 9月の気温は平年並 9月の降水量はほぼ平年並	— ± ±
	オオタバコガ	やや多い	県全域	フェロモントラップにおける 誘殺数はやや多い 9月の気温は平年並 9月の降水量はほぼ平年並	+ ± ±

・防除対策

〔野菜共通・オオタバコガ〕

キャベツではコテツフロアブル、ディアナSCなどで、その他の野菜類ではフローバックDFなどで防除しましょう。

・留意事項

例年8月から9月にかけて、チョウ目害虫の発生量が増加します。育苗ほでの防虫ネット設置、育苗期間中や定植時の薬剤処理などの対策を実施しましょう。

トマトやミニトマトでは、トマト黄化葉巻病の病原ウイルスを媒介するタバココナジラミの防除を徹底しましょう。コルト顆粒水和剤、ディアナSCなどで防除するとともに、感染株は発見次第抜き取り、適切に処分しましょう。

花き

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
キク (露地)	アブラムシ類	やや少ない	県全域	8月下旬の発生量はやや少ない 9月の気温は平年並 9月の降水量はほぼ平年並	— ± ±
	ハダニ類	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並 9月の気温は平年並 9月の降水量はほぼ平年並	± ± ±

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キク (露地)	アザミウマ類	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並 9月の気温は平年並 9月の降水量はほぼ平年並	± ± ±
	ハスモンヨトウ	やや少ない	県全域	フェロモントラップにおける 誘殺数はやや少ない 9月の気温は平年並 9月の降水量はほぼ平年並	— ± ±
	オオタバコガ	やや多い	県全域	フェロモントラップにおける 誘殺数はやや多い 9月の気温は平年並 9月の降水量はほぼ平年並	+ ± ±

・防除対策

[キク(露地)・オオタバコガ]

7月16日発表の「平成26年度病害虫発生予察注意報第3号」を参照してください。

・留意事項

例年8月から9月にかけて、チョウ目害虫の発生量が増加します。ほ場での発生を確認したら、早めに防除しましょう。

参考

東海地方 1か月予報 (名古屋地方气象台8月28日発表)

〈予想される向こう1か月の天候〉

期間の前半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。期間の後半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並の確率50%です。

週別の気温は、1週目は低い確率50%です。2週目は、平年並の確率50%です。3～4週目は、平年並または高い確率とも40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

[気温] 低い : 20% 平年並 : 50% 高い : 30%

[降水量] 少ない : 30% 平年並 : 30% 多い : 40%

[日照時間] 少ない : 40% 平年並 : 30% 多い : 30%